

# とまこまい 市議会だより

第9回定例会を開催いたしました。  
平成29年度一般・企業会計予算審査  
特別委員会を開催いたしました。  
(平成29年2月24日(金)～3月17日(金))



第18号

平成29年5月10日発行

■編集・発行・お問合せ先

苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

URL <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gikai/>

検索は  検索

写真提供 撮影者：はやし ひろし

「ふくし大作戦!!!2017」「子ども子育て支援事業」「就業支援事業」など  
平成29年度予算一般、特別、企業会計総額1,324億8,006万7千円が可決されました!



手話関係者の方々と共に

第9回市議会定例会は、平成29年2月24日(金)に招集され3月17日(金)まで開かれ、議案40件、報告5件、要望意見書3件、陳情4件などの審議が行われました。

本定例会では、苫小牧駒澤大学の設置者変更についての行政報告や市政方針及び教育行政執行方針が示されたほか、平成29年度各予算をはじめ、平成28年度補正予算、苫小牧市手話言語条例の制定、苫小牧市手数料条例及び苫小牧市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正についての審議を行いました。

対する各会派の代表質問では、「カジノを含む統合型リゾート」や「JR北海道の路線維持」、「ふくし大作戦!!!2017」などについて質疑が行われました。

また、3月7日から14日まで予算審査特別委員会が行われ、連日慎重な審査と質疑が交わられました。

なお、代表質問の質疑内容及び平成29年度予算審査特別委員会の質疑などは各会派記事(6ページ以降)、各委員会、特別委員会の質疑については4・5ページを参照ください。

平成29年度予算案などを審議

ふくし大作戦!!!2017に550万円、子ども・子育て支援として、私立保育所・認定こども園、小規模保育施設の園舎建設補助金、保育体制強化事業などに9億9,907万円としましたが、市職員の給与など人件費が前年度より1億5,648万円の減額、道路・学校の建設や改修の終了などにより、総額が前年度より減少した予算で可決されました。

統合型リゾート投資意向等調査検討事業費4,521万円を審議

平成28年12月に国のIR<sup>\*1</sup>(統合型リゾート)推進法が成立したこと

平成28年度補正予算案を審議

平成28年度補正予算では、一般会計の私立保育所に対する保育システム導入及び事故防止カメラ設置に係る補助として1,610万円の増額などがありました。また、国民健康保険事業などの特別会計では、保険給付費の減などによる9億2,841万9千円の減額。また、下水道事業などの企業会計では、下水道工事請負費の減などで4億3,364万6千円を減額する補正予算がそれぞれ可決されました。

今議会に提出された陳情の審査結果

- 【趣旨採択】
  - 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める要望意見書提出に関する陳情
  - 介護保険制度改正の見直しを求める要望意見書提出に関する陳情
  - 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める要望意見書提出に関する陳情
- 【不採択】
  - 三光包括「はつらつ教室」の存続及び継続に関する陳情

国や道の関係機関に意見書を提出

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める要望意見書」「介護保険制度改正の見直しを求める要望意見書」「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める要望意見書」が原案どおり可決されました。

「苫小牧市手話言語条例」をはじめ、条例の一部改正などについて可決

「苫小牧市手数料条例及び苫小牧市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について」など13の条例が可決されました。

15年ぶりに議員提案「苫小牧市がん対策推進条例」が可決

がん対策を総合かつ計画的に推進し、市民の健康寿命の延伸に寄与することを目的とする条例案が、全会派一致のもと提出され可決されました。

契約の締結

地方自治法及び条例の規定による一般競争入札で、北光小学校校舎改築主体工事6億7,176万円、啓北中学校屋内運動場改築主体工事3億9,420万円の契約の締結について原案どおり可決されました。

賛否が分かれた議案一覧表

議案番号	議案内容	可決	賛	反対	公明党議員団	日本共産党市議団	民進党・市民連合	改革フォーラム	会派市民
議案第14号	平成29年度苫小牧市後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	×	○	×	○	○	○
議案第38号	平成29年度苫小牧市一般会計補正予算(第1回)について「統合型リゾート投資意向等調査検討事業費」	可決	○	×	○	×	○	○	×
各会派所属議員 (池田謙次議長は採決には加わりません)									
			翼典一 嶋田村 矢岩木 宇板	池田謙次 林光田 神山西 大厚子	渡辺富 小野寺 工藤良	西野山 小松尾 岩田	樹三勝 茂征省 松越首	松越首 井川藤 雅慶孝 宏一治	谷川芳一 桜井

○賛成、×反対

議会改革検討会

1 一問一答方式について

第6回定例会から試行されてきた一問一答方式が、29年度より本格実施されます。一問一答方式を基本とし、一括方式を選択した場合は宣言をしてから行うことが確認されました。

一問一答方式は、傍聴する市民の皆様にも議論がわかりやすくなったと評価をいただいています。

これに伴い、市議会会議規則、議会運営に関する申合せ事項について、改正することを確認しました。

2 議会基本条例について

先進事例などの資料を参考に、どのように苫小牧らしさを盛り込んで行くか、十分な議論が必要です。まずは、たたき台を作りしっかりと議論を行い、それからアドバイザーに意見・提案をいただき、作りあげていくことを確認しました。

3 議会フェイスブックについて

4月から市民の皆様が議会に関する様々な情報を発信することを目的として開設します。

4 ICT化について  
議場へのパソコン及びタブレットの持ち込みについては、当面見送られることになりました。

〔付帯決議〕

議案第38号 平成29年度苫小牧市一般会計補正予算(第1回)

総務費の「統合型リゾート投資意向等調査検討事業費」については、IR実施法が示されていない現段階では、委員会の質疑を通じ、リスク対策などを初めとするさまざまな不明点があることが明らかになった。一方、将来の人口減少を見据え、本市の安定した自治体経営に寄与する雇用や税収の確保に向けた可能性を探ることは否定するものではない。

よって、公募型プロポーザル方式による競争性を担保し適正化を図ること、北海道に自覚と責任ある可能性調査の連携を促すこと、本予算を投じて行うIR調査結果を市民に説明し理解を得ることを求める。

また、市民理解が得られない場合、IR実施法が明らかになり本市の将来にリスクが高過ぎると判断した場合、さらには国のIR候補地の選定に漏れた場合であっても、本調査費が無駄とならぬよう、本市の魅力を発信する国内外に向けた観光政策や、現在もギャンブル依存症に苦しんでいる市民への対策に生かしていくように求める。

に伴い、IR実施法の成立を見据えてIRの可能性調査や依存症などへの不安対策を検討することも含めた可能性について市民に説明し、理解を深めるものとして提案されました。

この提案は議案第38号として平成29年度一般会計予算審査特別委員会に付託され審議の結果、賛成多数をもって付帯決議<sup>\*2</sup>を付して可決されました。

苫小牧駒澤大学の設置者変更  
について行政報告

学校法人駒澤大学から、苫小牧駒

澤大学の設置者を平成30年4月から学校法人京都育英館に変更するむねの報告が市にあり、議会にも行政報告されました。

消防自動車の接触事故について  
専決処分を報告

平成28年12月1日道道交差点において、市有自動車(消防自動車)が停止していた相手方車両に誤って接触し、損傷させた件について専決処分が報告されました。

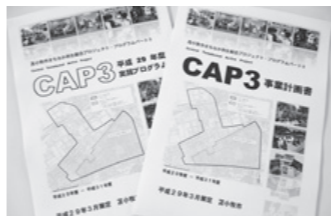
\*1 裏表紙のスポットをご覧ください。 \*2 付託された議案の審議、採決にあたり委員会の意見や希望を表明するもの。

**常任委員会**  
※付議事件(陳情審査結果に  
ついては3ページに記載)

**「CAPプログラム  
パート3(案)」に期待  
総務委員会**

所管事項のうち「CAPプログラムパート3(案)」は、平成29年1月30日の閉会中審議を経て、にぎわいの創出や公共交通の利便性など多くの意見を反映しました。パート3では、将来の人口減少・超高齢化社会を見据えた「持続可能なまちづくり」の実現に向けて取り組むこととなります。

また、「苫小牧市公共施設等総合管理計画(概要版)」では、公共施設などの現状と課題を整理し、今後10年間の目標値として、公共施設(建築系施設)の総延床面積を2%縮減することが示されました。



CAP  
まちなか再生総合プロジェクト

**三光包括「はつらつ教室」の  
存続及び継続に関する  
陳情などを審査  
厚生委員会**

神山 哲太郎 委員長

付議事件の(1)三光包括「はつらつ教室」の存続及び継続に関する陳情、(2)介護保険制度改正の見直しを求める要望意見書提出に関する陳情、(3)安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める要望意見書提出に関する陳情について、慎重な審査を行いました。特に(1)では、これまでの介護予防事業の「はつらつ教室」から新たな支援事業に移行することでのメリットやデメリットについて、委員から数多くの意見が出されました。また、所管事項の(仮称)沼ノ端鉄北地区複合施設整備事業の概要については、設備や用途について活発な質疑が交わされました。

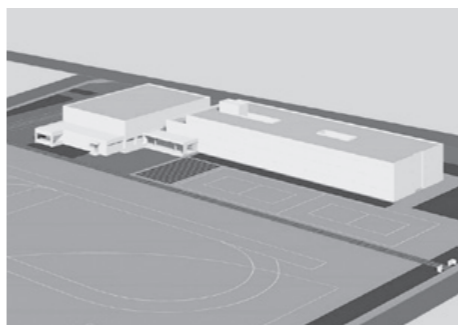


新たな介護予防に期待

**ウトナイ地区への中学校  
新設計画などを議論  
文教経済委員会**

矢嶋 翼 委員長

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める要望意見書提出に関する陳情について」は、趣旨採択としました。「苫小牧市第2学校給食共同調理場更新整備に係る予定地について」では、美原町3丁目9の市有地が適地との説明がありました。「苫小牧市立緑小学校改築計画(案)について」では18学級規模で工期は29〜32年度との説明がありました。また「(仮称)第16中学校新設計画(案)について」では予定地をウトナイ北2丁目5とし、12学級で31年度開校との説明がありました。



第16中学校外観イメージ図

**「苫小牧市耐震改修促進  
計画(案)」についてなどを議論  
建設委員会**

竹田 秀泰 委員長

「苫小牧市耐震改修促進計画(案)について」は、28年度から32年度までの取り組みとして現状の耐震化率の目標を90%から95%に改定する施策の説明がありました。「市営住宅の新婚世帯優先枠の新設(案)について」は、29年度から実施し、初年度は5戸程度を予定しているとの説明がありました。また「下水道使用料の未徴収について」では未徴収の原因説明、経過報告及び今後の対応について報告がありました。



進められる耐震改修促進計画

**特別委員会**

**大型巡視艇「りゅうせい」の  
配備が決定**

金澤 俊 委員長

今回の報告事項は5件ありました。このうち質疑は、米軍再編関連と北海道の空港経営改革関連、苫小牧港の漁港区、CCS実証試験についてありました。

「大型巡視艇「りゅうせい」の苫小牧港への配備について」は、苫小牧市と苫小牧市議会が長年要望を続けてようやく実現したもので大変喜ばしく、今後の苫小牧港の安全安心に活躍してくれ心から期待しているところと述べています。



配備された大型巡視艇「りゅうせい」

**日新町ガス爆発事故及び  
安全・安心及び市民ホール建設に  
関する特別委員会**

小野寺 幸恵 委員長

平成28年8月に発生した日新町のガス爆発事故及び火災の原因などについて、平成29年2月21日にガス事業者から消防本部に文書による中間報告があったことが説明されました。中間報告に対する質疑が交わされましたが、ガス事業者でなければ回答できない内容が多いことから、ガス事業者による参考人招致を決定し、4月12日に実施しました。しかし、事故報告について消防本部の説明と異なる部分が多くあり、再度4月24日に委員会を開催しました。

消防本部から、これまで以上にガス事業者と意思の疎通を図っていくことが示され、市からはガス事業者に対し、市民への説明と謝罪を行い、可能な限り早期に「安全宣言」を講ずるよう求めました。懸案事項となっていた消防本部とガス事業者とのガス漏れ及び火災・爆発事故の防止対策に関する申合せは、今後の対応策を含め早期に改定することが約束されました。

**一般会計  
予算審査特別委員会**

渡辺 満 委員長

総額753億1,600万円(統合型リゾート投資意向等調査検討事業費4,521万円の追加補正を含む)の予算に対し、6日間(31時間47分)の集中審議に延べ56名の委員が質疑し、当初予算は全会派一致で認定し、統合型リゾート投資意向等調査検討事業費の追加補正予算は日本共産党市議団と会派市民以外の賛成多数で可決しました。ただし緑風、公明党議員団、民進党・市民連合、改革フォーラムから付帯決議が提出され、賛成多数で付すことに決定しました。

**企業会計  
予算審査特別委員会**

林 光仁 委員長

特別会計(国民健康保険事業など)及び企業会計(上・下水道や市立病院事業など)の予算案合計571億6,406万7千円について慎重に審議を重ね、延べ44名の委員が質疑を行い、審査を終結しました。予算案に対して、後期高齢者医療特別会計については、賛成多数で可決。それ以外は全会一致をもって原案を可決しました。

また、下水道事業会計では、使用料未徴収の報告があり、その責任と再発防止対策について質疑され、要望意見を付すことに決定しました。

**平成29年度主な予算(抜粋)**

子育て等	私立保育所等施設整備費	8億4,018万円
	小規模保育施設整備費	1億2,049万円
	保育体制強化事業	2,160万円
医療安心	市立病院(医療機器等)	4億1,700万円
	消防自動車整備等	3億1,444万円
	霊園事業(共同墓等)	7,496万円
生活環境	市営住宅建設事業	10億1,144万円
	道路(幹線・生活道路)整備	20億2,740万円
	沼ノ端クリーンセンター事業	15億5,085万円
災害関連	水道事業(地震対策)	7億4,950万円
	下水道事業(大雨対策)	2億1,900万円
	河川整備(護岸対策)	4,500万円
教育関連	拓進小学校校舎増築	2億3,236万円
	緑小学校改築	7,755万円
	苫小牧東小・中学校改築	5,131万円
企業誘致・雇用	介護職員就業支援(資格取得等)	1,000万円
	就業支援事業(女性・若者支援)	6,643万円
	企業立地助成	2億6,191万円

緑 風

矢嶋 翼・岩田 典一・金澤 俊・木村 司  
竹田 秀泰・宇多 春美・板谷 良久



矢嶋 翼 議員

☆駅前活  
性化につ  
いて、医療  
福祉施設が  
集積するま  
ちなかへ、  
高齢者の居  
住を進めるべきとの提案に、さらに  
利便性の向上策に取り組みと答弁が  
ありました。

☆外部監査の導入について、現在2  
名の監査委員に税理士などを増員  
し、機能強化すべきとの提案に、他  
市も導入しており、調査検討すると  
答弁がありました。

☆命と献血の学習について、命の大  
切さと自殺予防の教育、さらに献血  
によって救われる命がある事を学ぶ  
授業をすべきとの提案に、「こころ  
の授業」として小・中学校で、自殺  
予防は道徳の時間で実施。献血の学  
習は血液センターに講演を依頼する  
と答弁がありました。

岩田 典一 議員

☆平成29年度予算で、カジノを含む  
統合型リゾート（IR）について、多



金澤 俊 議員

くの市民が  
心配されて  
いるキャン  
ブル依存症  
対策などに  
ついて質問  
し、市側か  
ら苦小牧市としても専門家に対する  
ヒアリングを行い、国内外の調査結  
果を踏まえ対応策を検討します。ま  
た、IRの効果や社会的リスク対策  
など多くの市民に月1回程度セミナ  
ーを開催しIRの理解と、IRにつ  
いて考える場面を増やして行くと答  
弁がありました。私は、このIR構  
想が苦小牧に来ることになれば非常  
に大きな事業となると思っており、  
今後のまちづくりの視点からもしつ  
かりと議論を進めるべきと考えます。

金澤 俊 議員



☆下水道料  
金の未徴収  
について  
今回、予  
算提案に合  
わせて下水  
道料金の徴  
収漏れが昭和47年から平成20年にわ

☆緑ヶ丘公園サッカー場改修工事につ  
いて、観戦スタンドを確保すべきで  
はないかと提案し、人工芝2面を最  
優先に考え、観戦用スペースも一部  
確保していくとの答弁がありました。  
☆(仮称)第16中学校(ウトナイ地区)  
実施設計において、グラウンド側にあ  
る生徒用通路の除雪について質問  
し、公務補が基本的に除雪し、教師  
が手伝いをして登校時間まで対応し  
ますと答弁がありました。

宇多 春美 議員



☆苦小牧市  
手話言語条  
例が制定さ  
れました。  
手話が言語  
であるとの  
認識により、

市・事業者・市民の責務を明らかに  
することを求めました。具体的には  
手話登録員に対して研修機会の確  
保・派遣先の拡大・専任通訳員を増  
進させること、また学校教育では手  
話学習の拡大により手話に触れる機  
会を増やすこと、そして何よりも  
「手話が言語である」ということを  
市民に周知する事を求めました。

☆後期高齢者健康診査には歯科健康  
診査があります。高齢者の健康増進  
に歯と口の検診がとても大切であり、  
口腔機能の低下や誤嚥性肺炎などの  
予防につながります。  
今後も苦小牧歯科医師会の協力を  
いただき受診率を高め健康寿命延伸  
を望みます。

板谷 良久 議員



☆防犯カメ  
ラの設置に  
ついて、学  
校や公園な  
どへの設置  
要望が1千  
台以上ある  
ことを指摘し、今後は人感センサーな  
ど、防犯抑止に効果的な機器・機材  
の設置を検討することになりました。  
☆30年度、胃がん検診に内視鏡が導  
入され、画像については、医療機関  
の医師とは別の検査医により再度チ  
ェックを行い、高い精度の検診に努  
めることが明らかになりました。

☆30年度に供用開始する共同墓につ  
いて、墓じまいに対応したお墓単位  
の単価設定の必要性を求め、検討す  
ることになりました。

会派市民

谷川 芳一・桜井 忠

行政報告



谷川 芳一 議員



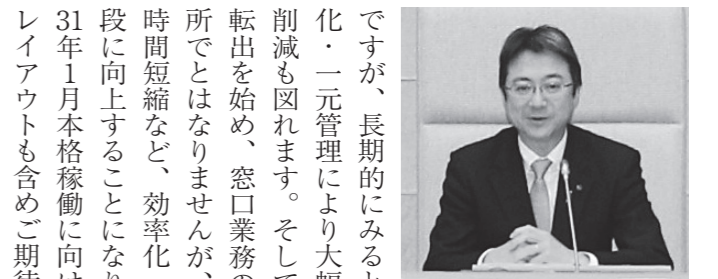
桜井 忠 議員

苦小牧駒澤大学の設置者変更

代表質問

- 1 苦小牧市の財政について
- 2 公約の取り組み状況について
- 3 行政改革について
- 4 カジノを含む統合型リゾート
- 5 新千歳空港安全運行と民営化
- 6 米軍の訓練移転について
- 7 外国人旅行客受け入れ体制
- 8 中央インターチェンジ
- 9 JR北海道の路線廃止
- 10 日本女性会議開催地
- 11 保育士等の男性活用
- 12 震災に強いまちづくりについて
- 13 同性婚とパートナー条例
- 14 教育行政方針

- (1) 教育の目的について
- (2) 学力向上について
- (3) 子どもの貧困と健康
- (4) メール配信サービス
- (5) 特別支援学級について



竹田 秀泰 議員

利便性の高  
い窓口が可  
能になりま  
す。平成29  
年度予算で  
は3億1千  
万円の上



☆総合窓口  
設置につ  
いて質問し、  
転入出など  
の手続きを  
可能な範囲  
で統合・簡  
略化して1か所で手続きが済むイメ  
ージで考え、市民目線に立った利便  
性の高い総合窓口を考えているとの  
答弁がありました。

カジノ

会派市民では代表質問や予算委員  
会で反対を明らかにしましたが、他  
会派の賛成多数で承認されました。  
以下に代表質問での考えを記載し  
ます。

- (1) 「良質な雇用」と言うが額に汗  
して働くのは質が低いのか。これ  
では職業に貴賤をつけ、差別を助  
長する。「幅広い雇用」にすべき。
- (2) 市内の雇用状況がひっ迫する。  
依存症が増えるが、その対策も  
明らかではない。そもそも依存症  
をつくらないことを考えるべき。
- (4) 負けたお金で街づくりをするよ  
り、それに頼らない誇り高い街づ  
くりをすべき。
- (5) 市政方針に「まちかどミートイ  
ングの声を市政に反映する」とあ  
る。まちかどミートイニングで反対  
が多数になれば諦めるのか。そう  
でなければ市政方針に反するが。
- (6) カジノができれば現在もギリギ  
リで運営している公営競馬が成り  
立たなくなる。そうなるなら馬産地  
日高では倒産し、離農する牧場が  
続出し地域経済は大変になるので  
カジノ誘致をするべきではない。

# 日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺 満  
工藤 良一・富岡 隆

▼I Rについて  
I R（カジノ）を含む統合型リゾート）について反対の立場で質問し、「I Rはカジノで負けた人が多いことで成り立つ。仮に、食べていける苦小牧」になったとしても両



小野寺 幸恵 議員

## 代表質問

▼代表質問  
また、駒澤大学開学時に譲渡及び貸与した市有地について、「一度市に返還させるべき」と指摘。部長は「議員の指摘は当然」とし、市・駒澤大学・京都育英館の3者で協議する考えを示しました。

▼行政報告  
渡辺 満 議員  
駒澤大学の移管について  
駒澤大学が市に相談せずに京都育英館に経営移管したことは、市と大学とで締結した協定書の「信義誠実の義務」に反する行為だと指摘しました。市長は「遺憾である」との認識を示しました。



渡辺 満 議員

▼無利子の奨学金制度について  
苦小牧駒澤大学の支援と人口減少対策から平成28年に提案していた無利子の奨学金制度創設について、京都育英館に移管されても実施する考えはあるのか質問しました。部長は「平成30年4月の入学者にも適用できるよう進めている」と答弁しました。

▼雇用助成金の改正について  
進出企業に対し支給している雇用助成金に正規雇用を条件にすることを提案。「制度改正の検討を行いたい」と答弁がありました。

▼保育所の増設について  
当市の保育所数は児童千人あたり2.77ヶ所（北海道は4.5ヶ所）であり、潜在的待機児童が全道で2番目に多い現状から、北海道なみの保育所数を目標に設定することを提案し、「総合計画に設定したい」との答弁がありました。

▼I R投資意向等調査検討事業費  
I R投資意向等調査検討事業費で、委託業者選定の方法・依存症対策の調査などについて質問。業者選

▼後期高齢者医療会計  
所得の低い高齢者支援として国は「特例軽減」を実施してきましたが、制度見直しによる影響について質問しました。担当部から「所得の低い方の特例軽減は当面維持されるが、一定の収入のある方は保険料が上がる」と答弁。



富岡 隆 議員

## 予算委員会

▼除雪について  
今冬の雪の現状から「雪害だという市民の声が多い」と指摘し、想定外の雪への対応を求めました。部長は、「今回の課題や教訓を生かし、特殊気象による被害が報告された場合は、関係部署と連携した対応を考えた」と答弁しました。

▼自宅での看取りについて  
市のアンケートで「自宅で最期を迎えたい」と40%回答していることを受け、医師会との協議など、看取りの環境整備を求めました。部長は「看取りができる医療機関は市内に3ヶ所」と説明し、「医師会との連携が不可欠」と、体制づくりを進めると答弁されました。

▼人間ドック・脳ドック事業等について  
毎年定員を上回る申込があるので定員枠を拡大することを提案しました。29年度は現行の320名から350名へ拡大するとの答弁がありました。また、脳ドックやペットCTががん検診についても関係機関と協議する方

# 公明党議員団

林 光仁・池田 謙次・藤田 広美  
神山哲太郎・大西 厚子

▼代表質問（抜粋）  
林 光仁 議員  
I Rについて、議員団として現時点では賛成できる材料は持ち合わせていない。市民理解をどう深めていくのかを質問。本市におけるI R像を示す必要があり、民設民営に基づき投資意向・施設規模・施設のコンセプト・依存症対策などのリスク対策を具体的に示していくと答弁がありました。

▼災害対策費  
藤田 広美 議員  
で、目や耳の不自由な方への情報伝達としてメール・電話・FAXの一時送信と、防災情報が確認できるテレフォンスービスを平成29年度までに導入する予定。



林 光仁 議員



藤田 広美 議員

▼I R投資意向等調査検討事業費  
I R投資意向等調査検討事業費で、委託業者選定の方法・依存症対策の調査などについて質問。業者選

▼まちなか交流センター指定管理費  
でココトマのサービス向上とバス待合スペースの確保を質問。29年度の早い時期に電子図書館サービスの供用を開始。がん検診事業費では、胃がん検診に胃内視鏡検査を50歳以上を対象に5月から実施。赤ちゃん・絵本のとびら事業では、29年度から拡大し、3冊の中から2冊を選択して提供します。他、食育推進計画の策定・コンビニ交付システム・市のPR動画作成・緑ヶ丘公園サッカー場改修についてなど質問しました。

▼新生児聴覚検査助成事業について  
平成29年4月1日以降生まれの新生児を対象に、初回検査費用をほぼまかなえる、一人3,000円を上限に助成すると答弁がありました。

▼他、認可地縁団体の町内会補助のあり方・高齢者等緊急通報システムについてなど質問しました。



神山 哲太郎 議員



池田 謙次 議長

今議会も各会派の代表質問・予算委員会と活発な質疑が展開されました。

議場では、第2回「議場コンサート」を開催。さらには、全国初の「議場婚姻セレモニー」を挙行。このように、発想を変えて、市民の皆様に喜んでいただける事業が出来たことは、市長はじめ議員一同の喜びであります。これからも、より市民の方々に開かれた議会を目指して参ります。



# 改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一  
牧田 俊之・首藤 孝治

**【代表質問】** 財政基盤の強化をはじめ、行政改革、ふくし大作戦、市民ホール、日本女性会議、防災力の向上、苦東開発、学力向上などの17項目について、今後のまちづくりに対する会派の考え方を示し質疑をしました。

**【統合型リゾート】** 現時点での会派の考えは、推進でも反対でもない「中立の立場」であり、今後、さらに情報収集を行うとともに市民意見を聞き、議論を深めたうえで判断してまいります。

**【苫小牧駅前再整備】** 駅前周辺の「核」として、科学センターの設置を提案するとともに、ものづくり産業の情報発信拠点となる複合施設の整備も提案しました。

今後市政に対し是非多々の立場で議論を展開してまいります。



越川 慶一 議員

## 代表質問



松井 雅宏 議員

## 予算審査特別委員会等

一般会計予算委員会等、ICT化関連予算、医療的ケアが必要な児童への対応、生ごみの減量対策、中小企業振興計画の策定、市道街路灯のLED化、学校公務補のグループ化、市発注工事における下請けの地元受注拡大など、22項目74点にわたる提案を交えて質疑をしました。

**IR投資意向等調査検討費**については、多くの市民の不安視する意見を受け、委員会採決において付帯決議を提案し賛成多数で採択されました。

詳しい内容については、ホームページブログ「日暮らしつづり」(<http://m-matsui.jp/>)にて報告しておりますので是非ご覧ください。



牧田 俊之 議員

一般会計予算委員会等、ドリームベースボール事業、住居表示板整備事業、企業振興、学校司書などについて質疑をしました。住居表示板整備事業では戸別訪問での表示率向上と街区表示板の地元業者の受注の可能性につながる提案をしました。企業振興においては道央産業振興財団・テクノセンターと市の関わり、基金の運用など確認し継続的な活動になるように側面支援を求めました。メッセナゴヤ(異業種交流展示会)での近隣自治体との連携について確認し、今後の道央圏への連携拡大へ向けて提案を行い市側と意思を共有しました。学校司書配置については中学校への司書配置に関して提案を行い、ボランティアの活用など工夫をしながら検討したいと回答がありました。常任委員会では給食の献立について今後に向けての議論をしました。



首藤 孝治 議員

企業会計予算委員会等、市内にある下水道管はおよそ1,500キロあり、50年以上経過する老朽した配管が多数あり、破損による陥没の恐れがあることから今後の配管整備計画について質疑をしました。

介護給付サービスについては、待機者が多く特別養護老人ホームに入居出来ず、やむなく在宅介護や老々介護を選択する方が多数いる状況を捉え、今後の介護保険事業計画にどのように反映するのか質疑をしました。また在宅介護において介護する側の方々の心のケアなど、今以上にケアマネージャーと連携を密にし、様々なサービスに取組むよう要望しました。

卸売市場事業では、水産棟及び青果棟の老朽化対策や縮小傾向にある花卉市場を今後どのように盛況させるのか質疑をしました。

# 民進党・市民連合

代表 小山 征三・副代表 西野 茂樹  
幹事長 松尾 省勝・副幹事長 岩田 薫

**IR誘致、判断は住民投票で!**

今議会にIRの調査費4,521万円が提案されました。苫小牧市が求めるより詳細な「IR像」を市民に示し、理解を深めるとの提案理由については、市民への情報提供のために必要と判断し、会派として予算には賛成しました。しかし、IR誘致には、様々な懸念すべき課題も多くあることから、全市民的な市民議論を行うことを市に求め、さらに、誘致の是非判断のための住民投票の実施も求めました。答弁では「最終的なIR像を示した段階で実施の判断をしたい」と今後を含みを持たせました。

- 1 政治姿勢**
- (1) IRについて
  - (2) JR北海道の鉄道事業の見直しについて
- 2 重点施策**
- (1) 子ども・子育て支援
    - ア 保育料無償化と待機児童の解消について
  - (2) 災害に備えたまちづくり
    - ア 活断層の対応について
    - イ 液状化対策について
  - (3) 雇用対策
    - ア 公契約条例の制定について
    - イ 指定管理における雇用改善について
    - ウ 中小企業の雇用支援について
  - (4) 男女平等参画
    - ア 男女平等参画基本計画について

## 代表質問(西野茂樹議員)

**★IR誘致は市民が判断**

IR誘致を表明している岩倉市長は、400万円の税金を投入して可能性調査報告書をまとめたが、いまだに市民の意見集約に着手せず、賛否も求めていません。誘致を想定する場所が空港周辺のため、千歳市など近隣自治体の協議状況を問うとともに、新たに設置する国際リゾート戦略室に市民意見の窓口を設けるよう求めました。答弁では、より具体的にになった段階で、千歳市長や周辺の首長に苫小牧市の考え方を説明するとしました。また、市民意見の窓口設置は、貴重な提案なので検討したいとの答弁がありました。

- 第2子の保育料無償化検討へ**
- 29年度から第3子の無償化(年収570万円以下)を実施しますが、「すべての無償化」を行わない理由を質し、第2子からの無償化を求めました。答弁では「第2子からの無償化について財政的シミュレーションを行い、しっかりと判断させていただきたい」と29年度に具体的な検討に入ることを示しました。

## 一般会計(小山征三議員)

**★町内会の名簿管理**など「個人情報」の取り扱いについては、過剰な反応が見受けられることを指摘しました。

市側は、活動に支障が出ないよう、質問票で相談を随時受け付けるとの答弁がありました。

**★介護職員就業**への具体的な取り組みを質しました。

市側は、「資格取得助成を上限5万円とし、周知を平成29年4月か

- 3 主要施策**
- (1) 市立病院
    - ア がん拠点病院の指定について
    - イ 増改築について
  - (2) 空港民営化、新千歳空港について
  - (3) 港湾整備
    - ア 苫小牧港漁港区将来ビジョン21について
    - イ 大型国際コンテナ船の誘致について
  - (4) 苫東開発について

## 一般会計(松尾省勝議員)

また、とまチョップ水は、28年度、5万4,000本を販売したことから、29年度は、6万本を目標とするとともに、道外向けとして、東京でテスト販売することが明らかにになりました。

- ★30年度から北海道に移行する国民健康保険事業**は、税率など詳細な事務作業が遅れていることから、市民への影響がないよう求めました。
- ★水道事業会計**では、平成20年に策定された水道ビジョンが、最終年を迎えることから、次期ビジョンでは事業の経営、施設の健全性の維持などが重要課題として策定するとしました。
- 企業会計(岩田 薫議員)**
- 30年度から北海道に移行する国民健康保険事業は、税率など詳細な事務作業が遅れていることから、市民への影響がないよう求めました。
- ★水道事業会計**では、平成20年に策定された水道ビジョンが、最終年を迎えることから、次期ビジョンでは事業の経営、施設の健全性の維持などが重要課題として策定するとしました。

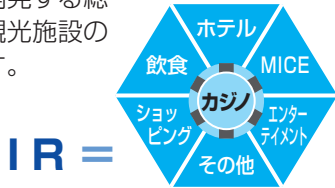
## 企業会計(岩田 薫議員)

# スポット

## 統合型リゾート(IR)とはどんなもの？

国では、平成28年12月にIR推進法が成立し、1年後のIR実施法制定を見据え、さまざまな議論を進めています。市議会においてもIRについてはさまざまな視点から質疑がされてきました。今回のスポットでは「統合型リゾート(IR)とはどのようなものか？」をご紹介します。

IRとは、カジノに加え、ホテル、MICE施設、レストラン、ショッピングモールやエンターテインメント施設など、地域におけるさまざまな観光資源を複合開発する総合的な観光施設のことです。



目的とは

日本がIRを導入する目的は、外国人にとって目玉となる観光施設を作り、インバウンド消費の経済効果を高めることなどとしています。

観光地の活性化・国や自治体の税収アップ・新たな雇用の創出・税収を福祉や社会保障に回すことが出来ますが、その一方、「ギャンブル依存症」を増やす懸念もあることから、日本人のカジノ施設への入場規制などについても、検討されています。

### 統合型リゾート(IR)建設の期待と懸念

期待

- ・ IR建設投資による経済効果
- ・ 新たな雇用の創出（施設で働く人材）
- ・ 観光客、ビジネスの増加

懸念

- ・ ギャンブル依存症の増加
- ・ 犯罪の増加
- ・ 周辺地域の治安悪化

### 苫小牧市の取組み

平成29年度予算で、IR投資意向等調査費 4,521万円を計上し、IRに関する市民の理解を深めるため、民間事業者に対する本市へのIR投資意欲の調査や依存症等社会懸念事項の整理などの調査を進め、市では市民に対して、苫小牧のIR構想を示していく予定です。



### 苫小牧市議会公式Facebookページをはじめました

市議会では、平成29年4月より公式Facebookページを開設しました。定例会などの会議情報、市議会の公式活動の情報、行政視察の受入れ情報などを中心に、開かれた議会を目的とした情報発信をしていきますので、ぜひご覧ください。

たくさんの方の「いいね！」をお待ちしています。

## 議会からのお知らせ

### ■ 議会日程のお知らせ ■

#### ● 第10回 市議会臨時会

月 日	内 容
5月12日(金)～17日(水)	議会人事ほか

#### ● 第11回 市議会定例会

月 日	内 容
6月14日(水)	陳情締切り（17：00まで）
6月15日(木)	本 会 議（報告・一般質問）
6月16日(金)～20日(水)	本 会 議（一 般 質 問）
6月21日(木)	常 任 委 員 会
6月22日(金)	特 別 委 員 会
6月23日(土)	本 会 議（残余議案・委員会報告・その他）

※日程などについては変更になる場合があります。  
 議会日程は議会運営委員会協議され、定例会初日の本会議で決定されます。  
 事前に議会事務局までお問い合わせください。※土・日・祝日は休会。  
 ※常任委員会（総務、厚生、文教経済、建設）  
 ※特別委員会（総合開発、安全・安心及び市民ホール建設に関する）

### 編 集 後 記

任期の折り返しを目前に控え、この2年間「わかりやすく市議会の様子を伝える」という、一つの目標に向かって、編集委員全員で編集作業に取り組んできました。読む側の視点に立った紙面を構成するために、移動編集委員会で市民との意見交換も行い、得られた「アイデア」を多く取り入れるなど工夫を重ねています。今後も市民の皆さんとの架け橋となる充実した「市議会だより」の編集に努めて参ります。

とまこまい市議会だより  
 編集委員 松尾 省勝

### とまこまい市議会だより編集委員会

金澤 俊・越川 慶一・宇多 春美・神山哲太郎・大西 厚子  
 工藤 良一・松尾 省勝・牧田 俊之・桜井 忠

次号発行は平成29年8月上旬の予定です。